

第18回元気いきいき町民の集い



「懐かしい歌の合唱」では、音楽療法士の山崎純代さんのキーボード演奏に合わせて、全員参加で楽しみました。

2月7日、保健福祉支援センターこぶしで「第18回元気いきいき町民の集い」が開催され、78人が参加しました。

佐賀地域で自立した在宅生活を送る90歳の方を表彰する「いきいき長寿賞」では、今年度対象者13人のうち8人が参加し、副町長から表彰状と記念品が授与されました。

幡多けんみん病院薬剤師・宮村憲明さんの「知っておきたい薬のはなし」では、薬の正しい飲み方や飲み合わせ、お薬手帳の活用方法などの話があり、参加者からは「来てよかった」「災害の時もお薬手帳があったら安心するね」などの声がありました。また、合唱や抽選会なども、楽しい雰囲気で行われました。(保健センター)

小学生が長巻寿司作りに挑戦

黒潮町農業委員会では、女性農業委員を中心に、町内全小学校で子どもたちに地産地消の料理作りを教えています。

26年度は2月2日に上川口小学校、同24日に入野小学校で実施。元農業委員やJA高知はた女性部、地域の女性らに教わりながら、長巻寿司とサラダ、豚汁、サツマイモの茶巾絞りを作りました。

上川口小では、全校児童49人が18・4mの長巻寿司を作りました(関連記事4ページ)。

「一つの料理を協力して作る楽しさと、町産食材の良さを知ってほしい」と女性農業委員の松本昌子さん。来年度は、佐賀小・伊与喜小・拳ノ川小での開催を予定しています。(農業委員会)



入野小学校では、5・6年生55人と大西町長が参加。21.2mの長巻寿司を完成させ、過去最長記録を更新しました。

南郷小の手づくり環境美化看板



「きれいな町黒潮町」「ごみ拾いすればするほどいい気持ち」「缶を捨てたらいいカン!!」などと書かれたカラフルな看板ができました。

南郷小学校児童らが、環境美化を呼びかける看板6枚を制作し、3月10日に学校近くの県道沿いに設置しました。

鞭地区自然保全クラブ(秋田耕作会長)が、環境美化事業の一環として実施。7年前に設置した看板が老朽化したため、新たに制作したものです。島田建築・島田金一さんが作った看板に、南郷小学校の5・6年生15人が絵やメッセージを書いて仕上げました。

設置には、秋田さんや島田さん、地元住民らも協力。子どもたちは、「みんなが看板を見てくれて、ゴミがなくなればいいなあ」と話していました。

鹿島神社大祭で豊漁・安全祈願

3月8日、黒潮町佐賀で「鹿島神社大祭」が行われました。例年3月第1日曜日ですが、今年は2週目になりました。

近隣住民が見守る中、鹿島神社のご神体を乗せた男みこし・女みこしが佐賀の港町一帯を練り歩きました。広い直線部では、太鼓と「ヨイヨイ!」という威勢のいい掛け声に合わせて、みこしをゆすつて猛ダッシュ。沿道からは拍手が沸き起こりました。

旧横浜保育所と黒潮一番館では、地元の児童らが鼓踊りを奉納。カラフルな衣装を身にまとった子どもたちは、懸命に太鼓を打ち鳴らし、華麗な舞を披露しました。



高校生やインドネシアの漁協研修生らが担いだ男みこしと女みこしが、町なかを駆け抜けました。